

課題名	環境と健康の研究に資する一般微生物のゲノム情報の整備
課題管理者	大熊 盛也 理化学研究所バイオリソースセンター 微生物材料開発室
実施期間	2012 年度
概要・実施体制	<p>微生物は多様な機能を有しており、その能力の利用には我が国の伝統 と優位性がある、幅広い分野で多くの学術研究が微生物を対象になされています。特に社会要請の高い地球環境と人の健康のための研究においては、微生物の多様な能力の利用は大変期待されています。微生物の多機能性はその種多様性に起因しますが、NBRP 一般微生物では多様な細菌・古細菌・真菌の微生物リソースを整備して、多くの研究に利用されています。</p> <p>本プログラムは、NBRP 一般微生物の中核的拠点整備プログラムの代表機関である理化学研究所バイオリソースセンターと東京大学大学院新領域創成科学研究科オーミクス情報センターとが共同で実施します。NBRP 一般微生物から公開している環境と健康の研究に有用な微生物のうち、特に細菌・古細菌の幅広い多様な微生物株のドラフトゲノム解析を実施します。同時に解析に供したゲノム DNA も利用可能な状態として利便性の向上もはかります。有用な数多くの微生物株のゲノム情報の整備によりリソースの付加価値を高めて、環境と健康および微生物の関連する学術研究の発展への貢献を果たします。</p>
成果	<p><a href="http://jcm.brc.riken.jp/en/nbrplist_e">http://jcm.brc.riken.jp/en/nbrplist_e</a></p> <p><a href="http://www.ddbj.nig.ac.jp/whatsnew/wn140402-j.html">http://www.ddbj.nig.ac.jp/whatsnew/wn140402-j.html</a></p>